

開講年度	令和6年度	開講課程	博士前期課程
授業名	社会・予防医学概論		
開講キャンパス	紀三井寺・伏虎	教室	基礎教育棟3階講義室2 中講義室304
科目区分	ベーシック科目	配当年次	1年次
必修・選択の別	必修	単位	1単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	疫学、EBM（科学的根拠に基づく医学）、集団、予防		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	教授 藤吉 朗、准教授 東山 綾、 <u>准教授 牟礼佳苗</u> 、講師 山野貴司	
	薬	教授 岡田 浩	
授業の概要	本講義では生活習慣病に係る危険因子と予防や地域医療の実情について疫学的観点から学ぶとともに、いわゆる臨床研究を含む広義の疫学分野における基礎的知識・研究手法を修得する。		
到達目標	<input type="checkbox"/> 広義の疫学研究（臨床研究も含む）の立案及び論文の批判的吟味に必要な基本的な疫学概念や研究手法を理解する。 <input type="checkbox"/> 生活習慣病を中心とした予防医療に関する知見を深める。		
授業計画	<p>1. 疫学総論（藤吉 朗／1回）【9/4 6限】 疫学研究の定義及び研究デザインについてなどを論ずる。</p> <p>2. 頻度の指標・関連の指標（東山 綾／1回）【9/11 6限】 有病率、累積罹患率、罹患率、相対危険度（オッズ比を含む）などを講義する。</p> <p>3. 誤差・交絡（牟礼佳苗／1回）【9/11 7限】 偶然誤差・系統誤差（バイアス）の概念、妥当性・再現性、交絡に関し講義する。</p> <p>4. 地域薬局におけるヘルスプロモーション（岡田 浩／1回）【9/18 5限】 薬剤師・薬局の視点からの健康増進・疾病予防に関する取り組みを紹介する。</p> <p>5. がんの予防・危険因子（牟礼佳苗／1回）【9/18 6限】 がん予防に関する基礎知識・予防の実態を論ずる。</p> <p>6. 循環器疾患の予防（東山 綾／1回）【9/18 7限】 循環器疾患予防に関する基礎知識・予防の実態を論ずる。</p> <p>7. 地域医療における予防医学（地域医療論A）（山野貴司／1回）【9/25 6限】 国内外での予防医学の実例から地域医療が果たした役割を学び、今後の地域医療のあるべき姿を検証する。</p> <p>8. 科学的根拠に基づく医学（EBM）（岡田 浩／1回）【9/25 7限】 薬局で実施する予防への取り組みについて紹介する。EBMの成り立ち・考え方、臨床応用について講義する。</p>		

授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	<p>【教科書】 特に指定しない。</p> <p>【参考書】 「はじめて学ぶやさしい疫学：日本疫学会標準テキスト（改訂第3版）」 監修：日本疫学会 出版社：南江堂 「基礎から学ぶ楽しい疫学（第4版）」 著者：中村好一 出版社：医学書院 「公衆衛生がみえる」編集：医療情報科学研究所 出版社：Medic Media 「健康教育マニュアル 生活習慣病予防の保健指導（第2版）」 共編：岡山明、奥田奈賀子 発行：日本家族計画協会</p>